

2024年度 中間決算説明会

2025年6月期 第2四半期

株式会社 ゼロ

2025年2月26日

代表取締役社長

高橋 俊博



ZERO CO.,LTD.

1

**2024年度 中間決算概要
(2025年6月期)**

2

会社概要紹介

3

質疑応答

1

**2024年度 中間決算概要
(2025年6月期)**

2

会社概要紹介

3

質疑応答

業績ハイライト

売上収益
(前年同期)

+7.1%

689億円

(643億円)

営業利益
(前年同期)

+113.9%

49億円

(23億円)

営業利益率
(前年同期)

+3.6%

7.2%

(3.6%)

ROE
(前期末)

予想据置

14.0%

(11.8%)

PER
(前期末)

予想据置

8.0倍

(7.5倍)

PBR
(前期末)

+0.26倍

1.10倍

(0.84倍)

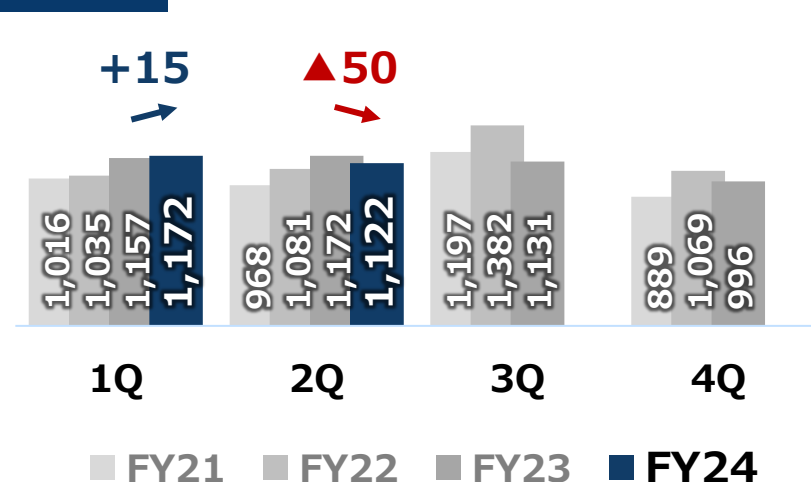
※ ROE・PER：2025年6月期通期予想、PBR：2024年12月末時点



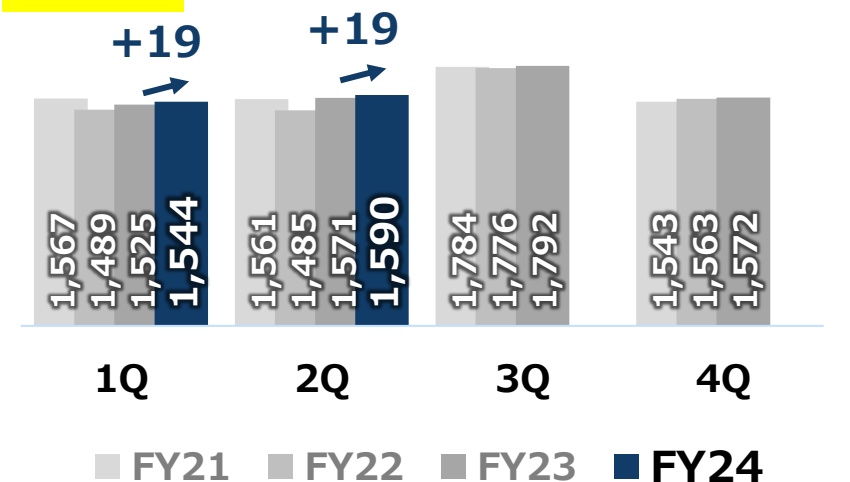
外部環境：新車・中古車販売・登録・輸出台数推移

上期は新車輸出が大幅にマイナスとなったことを除き、ほぼ前年並みで推移

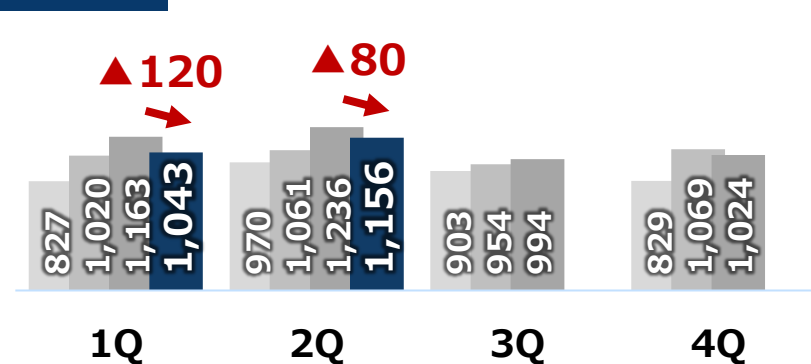
新車販売



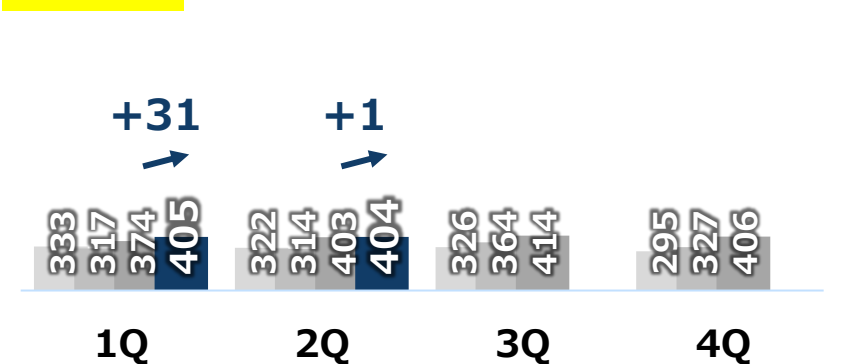
中古車登録



新車輸出



中古車輸出

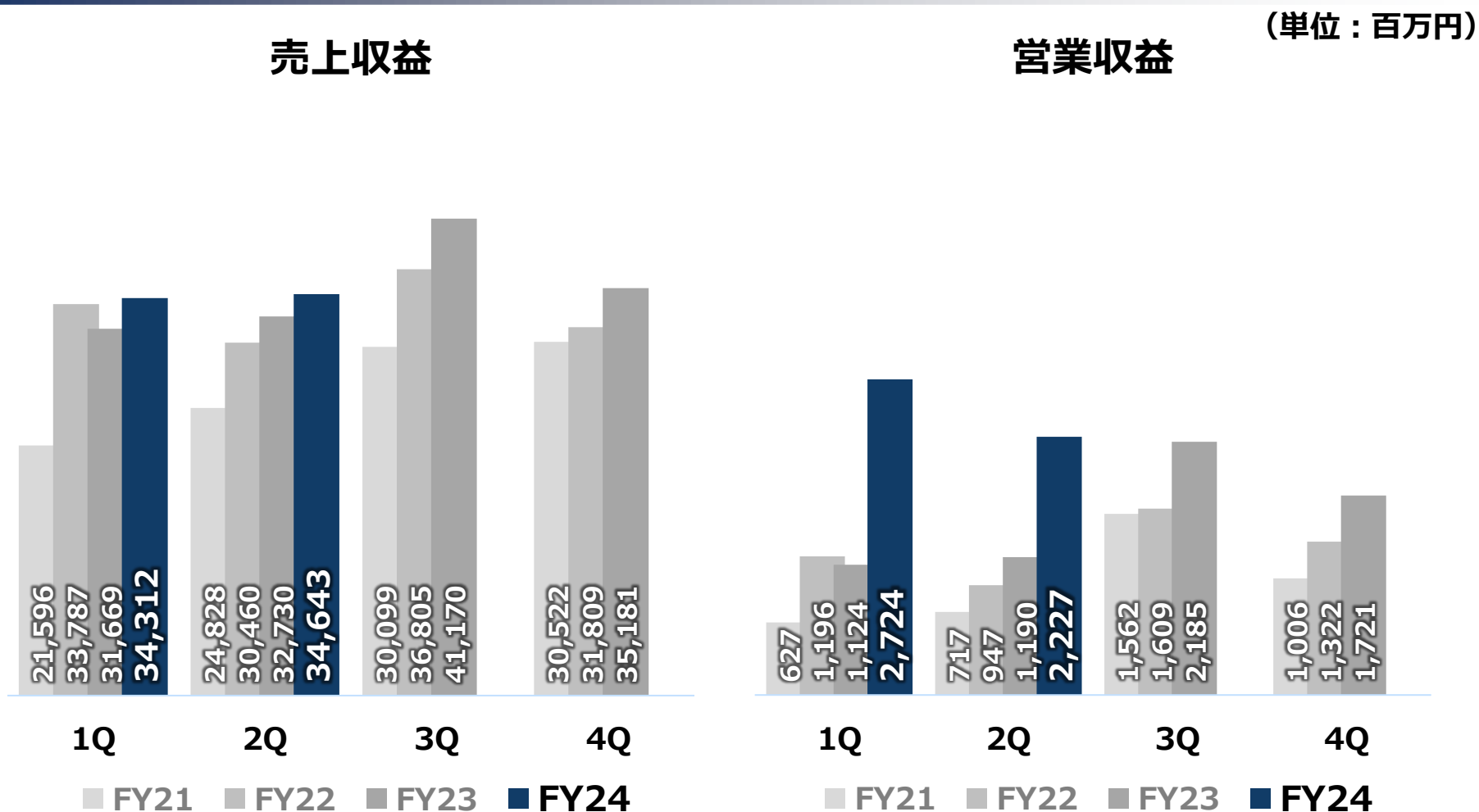


(出典：JAMA、JAIA、自販連、全軽自協等統計より当社作成)



業績推移（四半期）

主に国内自動車関連事業において2024年1月から順次実施した料金改定効果が
今期から上期にも寄与し、大幅な増益となった



業績概要

(単位：百万円)

| | 実績（累計） | | 前年同期比 | |
|----------------------|-------------------|-------------------|------------|--------|
| | 2024年6月期 第2四半期 | 2025年6月期 第2四半期 | 金額 | 比率 |
| 売上収益 | 64,399 | 68,956 | +4,557 | 107.1% |
| 営業利益 | 2,315 | 4,951 | +2,636 | 213.9% |
| 営業利益率 | 3.6% | 7.2% | +3.6% | - |
| 税引前利益 | 2,324 | 4,942 | +2,618 | 212.7% |
| 親会社の所有者に 帰属する当期利益 | 1,460 | 3,505 | +2,044 | 240.1% |
| 基本的1株あたり 中間利益 | 86.51円/株 | 207.12円/株 | +120.61円/株 | 239.4% |
| 中間配当金 | 15.0円/株 | 43.0円/株 | +28.0円/株 | 286.7% |



業績概要

改善基準告示、準備を進めてきた施策による輸送効率の向上や輸送戦力の確保が進んだことにより、国内自動車関連事業がグループの業績を牽引

売上収益



- (+) 2024年問題対策に伴う輸送戦力確保による受託台数増加
- (+) グループ会社の業容拡大に伴う増収（特にIKEDAやソウイングの貢献）
- (+) 2024年1月より順次実施した料金改定効果等
- (+) HR事業における料金改定や増車・増員等
- (-) 中古車輸出事業における船積み遅れ（中古車輸入許可証発行のため）

営業利益



- (+) 復荷獲得や粗利益に重きを置く営業活動推進
- (+) グループ会社の業績が好調に推移
- (+) 受託台数増加および料金改定効果等
- (-) 2024年問題対応コストや労務費に加え、車両費の負担上昇

PBR



資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた取り組みの発表や好調な業績、上場維持に向けた活動等による流動性向上が市場から評価され、PBR 1倍超えを継続

トピックス

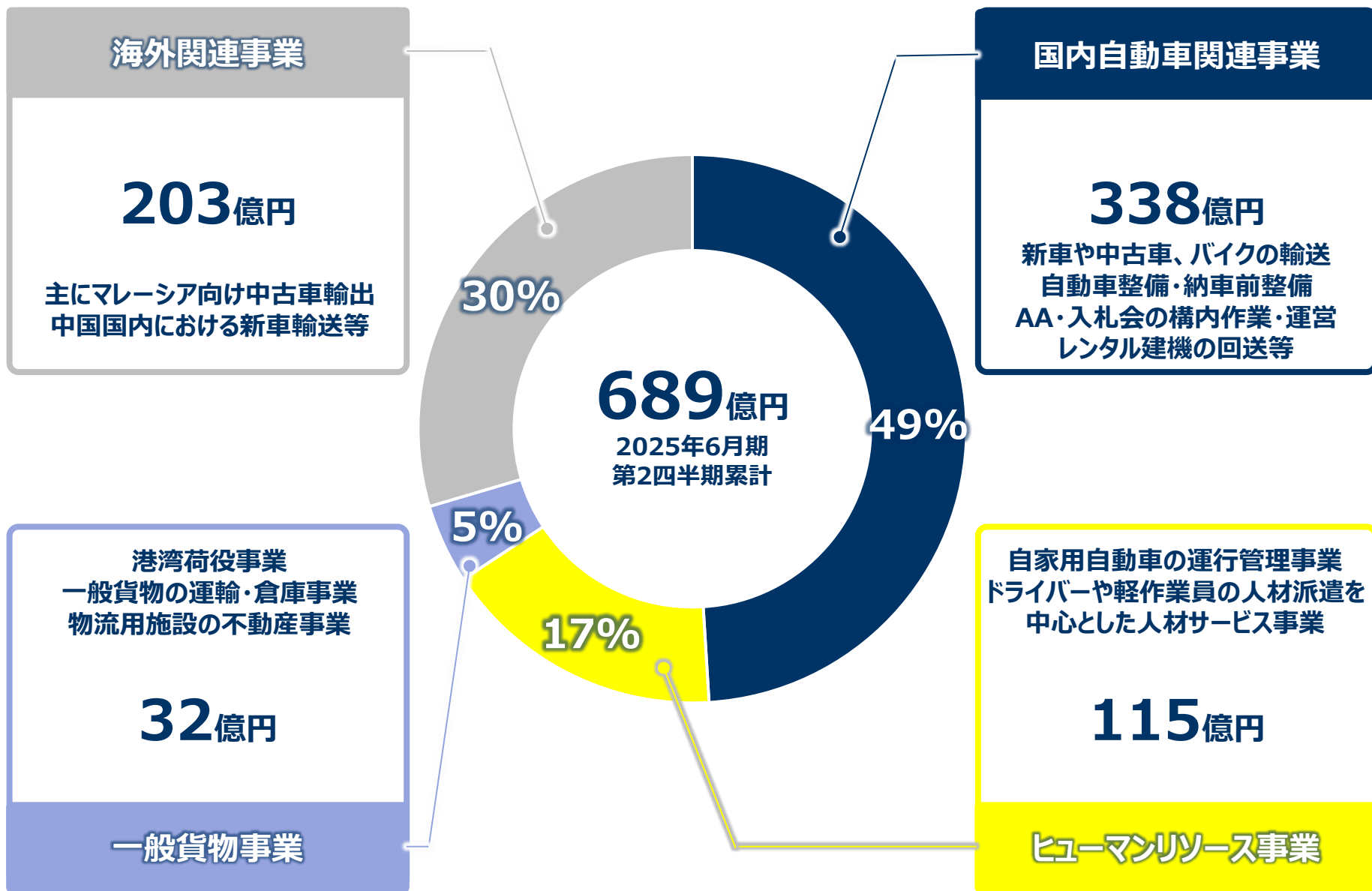
2024年8月・11月：当社株式の立会外分売実施（合計 988,300株）

2024年12月：株式会社メルカリとの業務提携締結、IRページリニューアル

2025年 1月：IR Streetへの投資家向け情報掲載開始

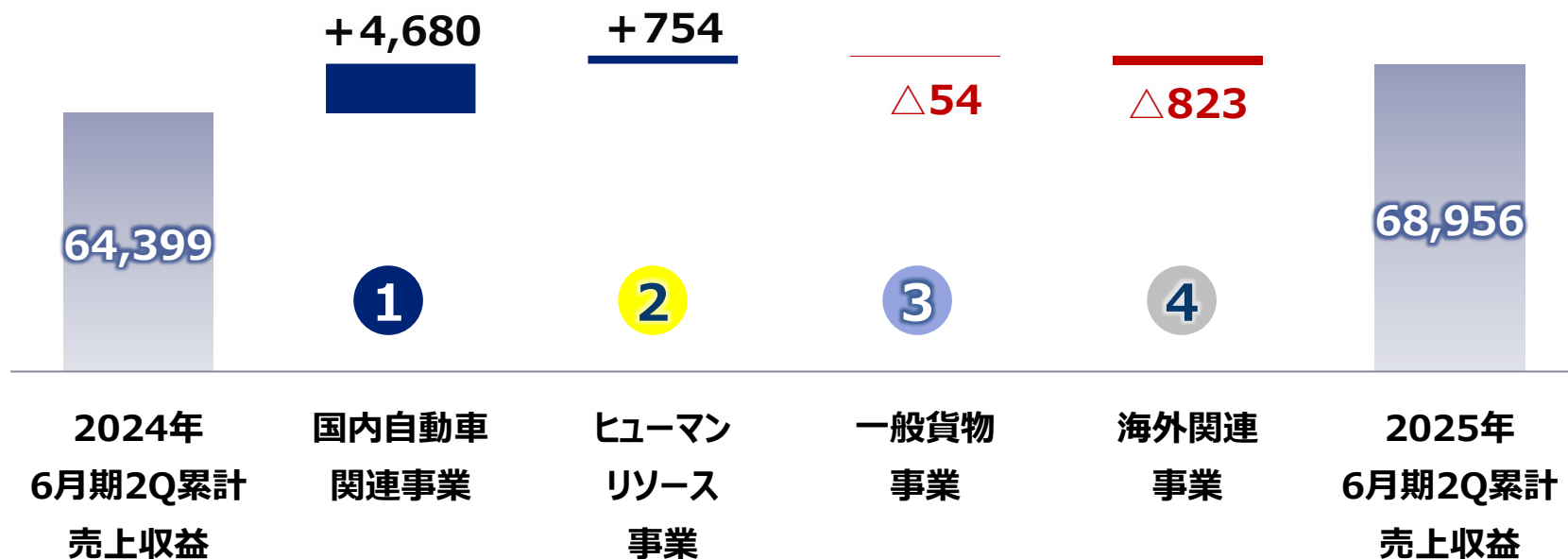


事業構成（セグメント売上収益）



業績分析（売上収益）

（単位：百万円）



① 国内自動車関連事業

- (+) 車両輸送：2024年問題対策に伴う輸送戦力確保による受託台数増加
- (+) 周辺事業：連結子会社ソウイングとIKEDAの業績寄与
- (+) 車両輸送：新車・中古車の輸送料金引き上げ

③ 一般貨物事業

- (-) 港湾荷役：一部顧客の荷役量の減少
- (-) 運輸・倉庫：主要顧客の取扱荷量の減少
- (-) 運輸・倉庫：2024年問題に伴う備車先の減少

② ヒューマンリソース事業

- (+) 送迎：ドライバーの採用手法見直しによるドライバー確保、新規契約の獲得及びMaaS事業の増車
- (+) 人材サービス：ドライバーの派遣人員数の増加
- (+) 人材サービス：空港関連人材事業の派遣人員数の増加

④ 海外関連事業

- (+) 車両輸送（中国）：民族系の新規契約獲得
- (-) 中古車輸出：中古車輸入許可証発行に伴う船積みの遅延



業績分析（営業利益）

（単位：百万円）



① 国内自動車関連事業

- (+) 車両輸送：復荷獲得や粗利益に重きを置く営業活動推進
- (+) 周辺事業：連結子会社ソウイングとIKEDAの業績寄与
- (+) 車両輸送：新車・中古車の輸送料金引き上げ
- (-) 車両輸送：2024年問題対応コスト・労務費・車両費上昇

③ 一般貨物事業

- (+) 港湾荷役：業務効率化に伴う原価低減活動推進
- (+) 運輸・倉庫：不採算事業の見極め

② ヒューマンリソース事業

- (+) 全般：在籍ドライバー増加など増収に伴う増益
- (-) 全般：体制強化による人員増などの運営コストの上昇

④ 海外関連事業

- (+) 中古車輸出：競合激化の中、船枠確保による収益性向上
- (-) 車両輸送（中国）：復荷輸送の減少

バランスシートの状況

(単位：百万円)

| 科目 | 2024年6月期 期末 | 2025年6月期 第2四半期末 | 対前期末 |
|-----------------|----------------|--------------------|---------------|
| 流動資産 | 32,994 | 37,152 | +4,157 |
| 現金及び現金同等物 | 11,316 | 12,433 | +1,116 |
| 営業債権等 | 17,326 | 15,924 | ▲1,402 |
| 棚卸資産 | 2,979 | 7,575 | +4,596 |
| その他 | 1,372 | 1,218 | ▲153 |
| 非流動資産 | 37,739 | 36,459 | ▲1,279 |
| 有形固定資産 | 24,845 | 23,321 | ▲1,524 |
| のれん及び無形資産 | 5,328 | 5,697 | +368 |
| 投資不動産 | 2,949 | 2,921 | ▲28 |
| その他 | 4,615 | 4,518 | ▲95 |
| 資産合計 | 70,733 | 73,612 | +2,878 |
| 負債合計 | 32,860 | 33,030 | +169 |
| 社債及び借入金 | 5,100 | 7,100 | +2,000 |
| 資本合計 | 37,873 | 40,581 | +2,708 |
| 負債及び資本合計 | 70,733 | 73,612 | +2,878 |

2024年度（2025年6月期）の業績予想

2024年8月8日発表

(単位：百万円)

| | 実績 | 業績予想 | 前年同期比 | |
|----------------------|-----------------------|------------------------|---------|--------|
| | 2024年6月期 | 2025年6月期 | 金額 | 比率 |
| 売上収益 | 140,751 | 135,000 | △5,751 | 95.9% |
| 営業利益 (営業利益率) | 6,222 (4.4%) | 8,100 (6.0%) | +1,878 | 130.1% |
| 税引前利益 | 6,227 | 8,100 | +1,873 | 130.0% |
| 親会社の所有者に 帰属する当期利益 | 4,150 | 5,500 | +1,350 | 132.5% |
| ROE ※ | 11.8% | 14.0% | +2.2% | 118.6% |
| 基本的1株あたり 当期利益 | 245.61円 | 325.46円 | +79.85円 | 132.5% |
| 年間配当金 (中間配当) | 61.40円 (うち 15.00円) | 107.40円 (うち 43.00円) | +46.00円 | 174.9% |
| 配当性向 | 25.0% | 33.0% | +8.0% | - |
| (参考) DOE | 2.9% | 4.6% | +1.7% | 158.6% |

※ROE = $\frac{\text{親会社の所有者に帰属する当期利益}}{\text{親会社の所有者に帰属する持分 (当該期とその前期の平均値)}}$



1

2024年度 中間決算概要
(2025年6月期)

2

会社概要紹介

3

質疑応答

会社概要

商号 | 株式会社ゼロ ZERO CO., LTD.

証券コード 9028 (東証スタンダード)



代表取締役社長 | 高橋 俊博

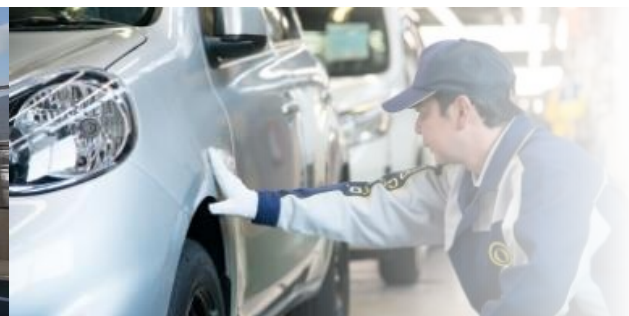
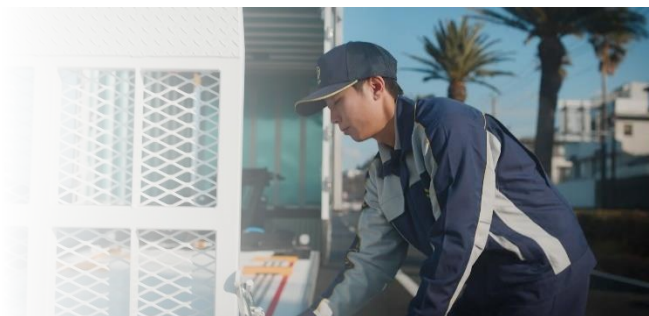
単元株式数 | 100株

従業員数 | 9,175名 (2024年6月末現在) (内 臨時雇用者6,528名)

本社所在地 | 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地
ソリッドスクエア西館6階

創業 | 1961年10月24日

事業内容 | 自動車を中心とする輸送、自動車の整備、
中古車オークションの開催・運営、
一般貨物輸送 他



企業理念&ビジョン



「0」という数字の発見により、飛躍的に計算が進歩し、数学において不可欠な存在となりました。

当社も同様に、物流業界のなかで「**欠かせない企業**」でありたいと願い、社名に込めました。

またゼロのロゴマークのモチーフは「**卵**」です。

命をつなぎ、命をはぐくむ卵を運ぶように、お客様の資産を大切に運ぶということを表現しています。

企業理念

「品質」

お客様に安全で良質な輸送・サービスを提供すると共にお客様の期待以上のサービスを創造することにより、豊かな社会の発展に貢献する



人的品質

リーディングカンパニーとして認知され優秀な人材に選ばれる



物流品質

安全かつ高品質な全国輸送ネットワークでお客様から選ばれる



営業品質

自動車流通における総合物流企業サービスプロバイダー

ビジョン

物流業界の中で**日本トップグループ**に位置づけられる**事業内容と収益体質**を構築している

社員が夢を持って仕事に取り組んでおり、組織の中に**創造の芽**が沸き起こる**活気のある企業グループ**



主要事業：国内車両輸送 独立系で業界No.1

品質にこだわる車両輸送業界の リーディングカンパニー

全国をカバーする自社&協力会社ネットワーク

毎日約**10,000**台の
自動車を全国に輸送、
お客様の期待を超える感動を提供

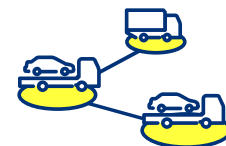
約**1,000**両の
自社保有キャリアカー
(業界最多)



約**2,000**名の
プロフェッショナルドライバー



約**80**社の陸送・海運
協力会社連携 (業界最多)



国内**50**カ所の
物流拠点網による
全国ネットワーク



当社の強み：盤石の国内自動車関連事業を核とした事業拡大

新規参入が困難な国内自動車関連事業を基盤として周辺事業展開を加速

新規参入困難

キヤリアカー
供給能力

ドライバー
確保力

国内自動車関連事業

日本全国をカバーできる実質的なプレイヤーは3社程度

納車前整備 + **中古車輸送**

新車輸送 **中古車輸送**

ゼロ：独立系

トヨタ輸送
ホンダロジスティクス
スバルロジスティクス 他

No.1

ゼロ：
他社を寄せ付けず
圧倒的首位を独走

ヒューマンリソース事業

- **派遣事業**
 - ・ドライバー人材（ゼログループや物流業者ほか）
 - ・主に空港施設へのグランドスタッフ派遣
- **送迎サービス事業**
 - ・病院やクリニック（人工透析患者）
 - ・幼稚園や保育園、小学校
 - ・介護施設
 - ・企業（役員送迎や工場送迎）ほか

一般貨物事業



海外事業



当社の強み：ドライバー人財の囲い込み

約**80**社の
協力会社



— 様々な職場 —

ゼログループ会社
協力会社、取引先物流会社
ほか



約**3**万人の
登録人財プール



— 様々な仕事 —

セミトレ・積載
自走/大型自走・
送迎サービス ほか



約**2,000**人の
プロドライバー



— 様々な契約形態 —

契約社員・正社員・派遣社員
個人事業主 ほか



ゼロのヒストリー：売上収益の推移

日産陸送
株式会社を設立



日産自動車株式会社から独立
株式会社ゼロに社名変更



東証スタンダード
市場に株式上場



創立
60周年

1961年

資本金3,000万円

2001年

2005年

資本金33億3,611万円に増資

2021年

グループ売上収益
1,000億円突破

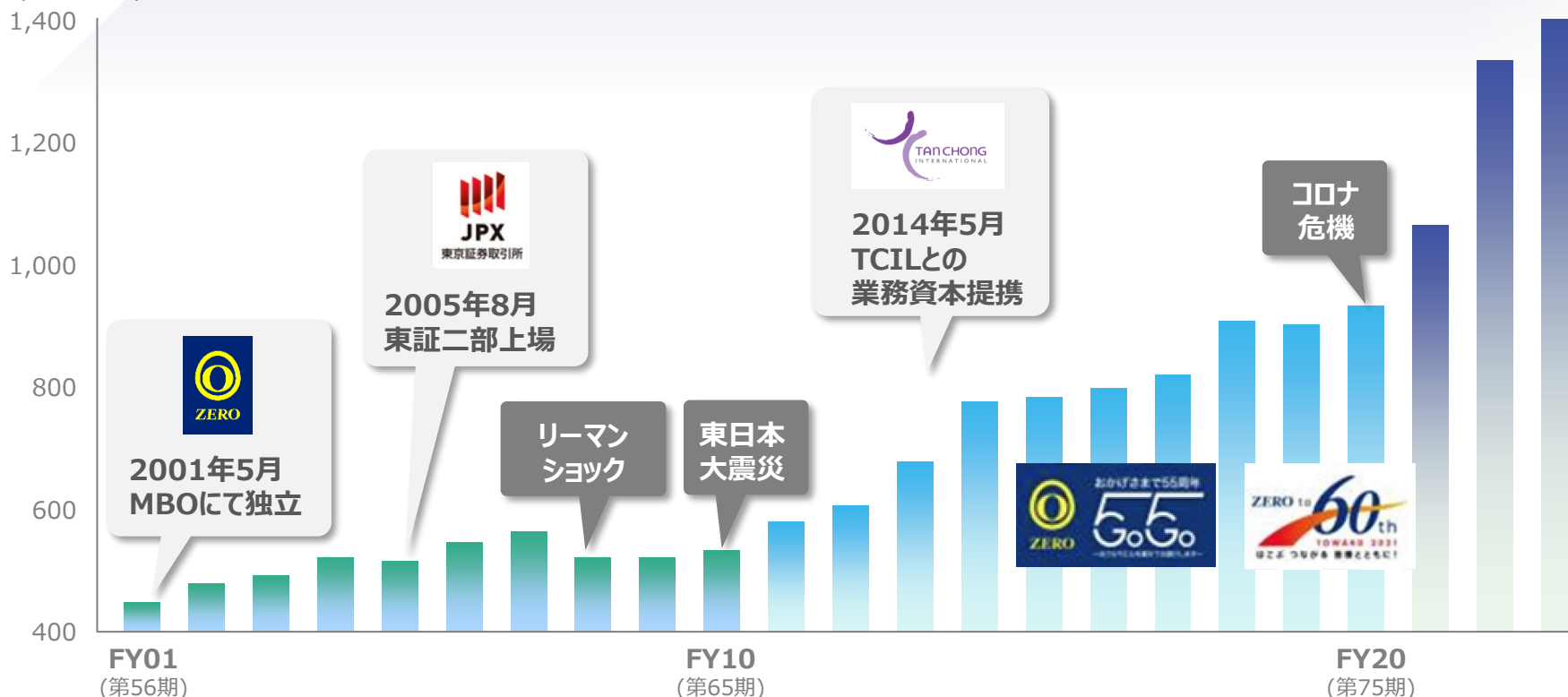
2025年

はじめの10年

その後の10年

直近

(単位：億円)



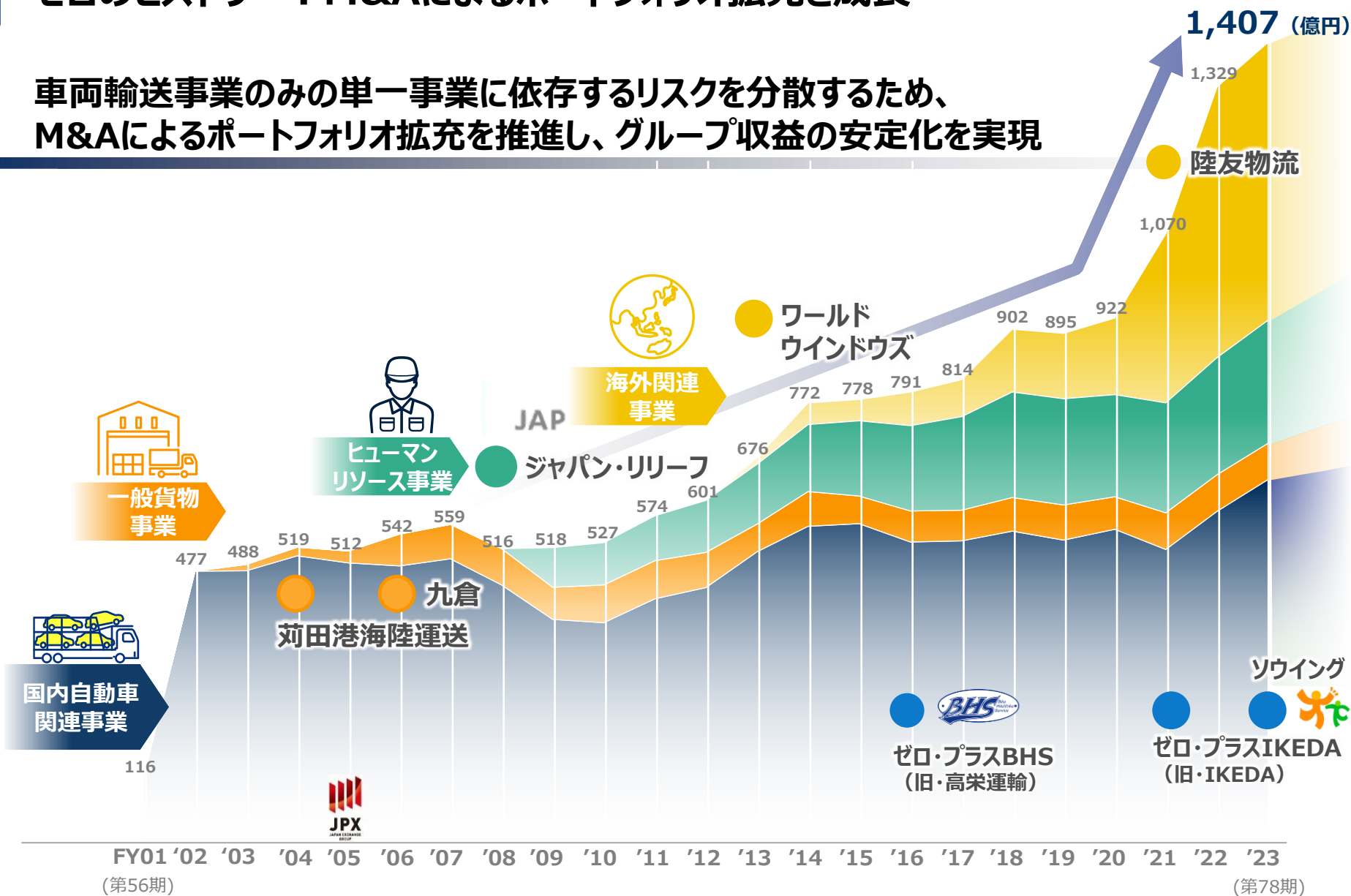
※ 決算期変更により、第56期は3ヶ月決算
※ 第56期、第57期は単体、第58期以降は連結



ZERO CO.,LTD.

ゼロのヒストリー：M&Aによるポートフォリオ拡充と成長

車両輸送事業のみの単一事業に依存するリスクを分散するため、
M&Aによるポートフォリオ拡充を推進し、グループ収益の安定化を実現



※ 決算期変更により、第56期は3ヶ月決算（第55期：44,552百万円）

※ 第56期、第57期は単体、第58期以降は連結

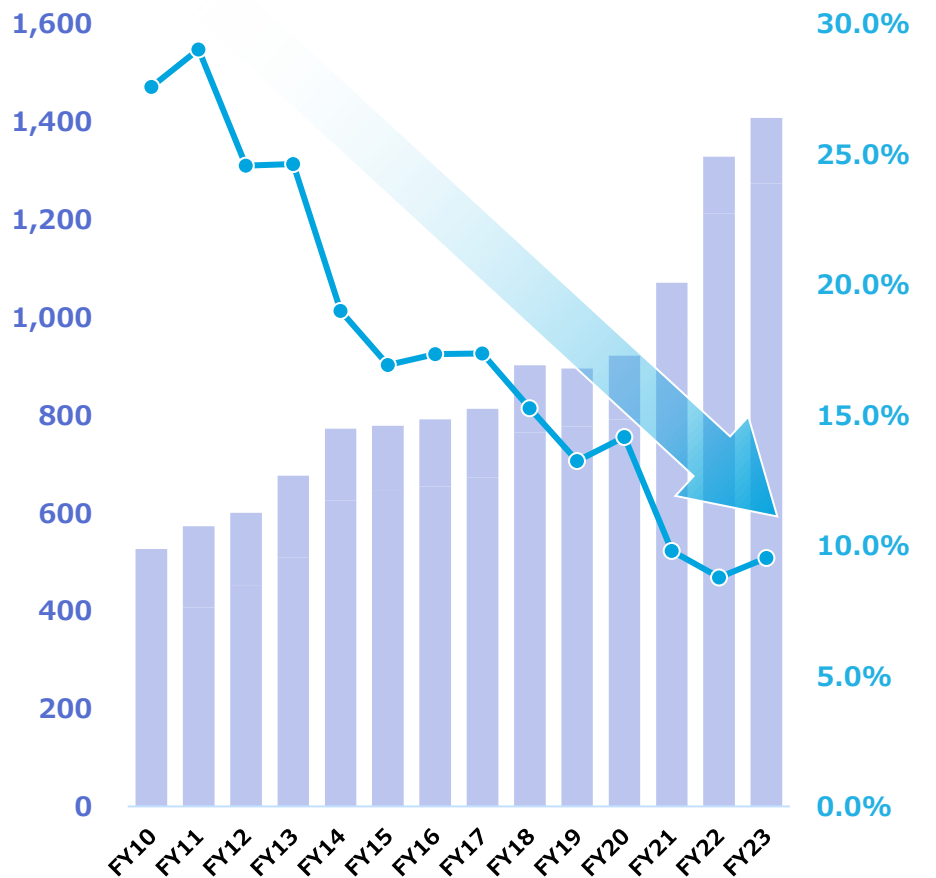


日産自動車からの自立

独立系車両輸送企業としての顧客拡大、海外やドライバー基軸の国内事業領域拡大で源流の日産に依存しない収益基盤を確立

売上収益および日産依存度*

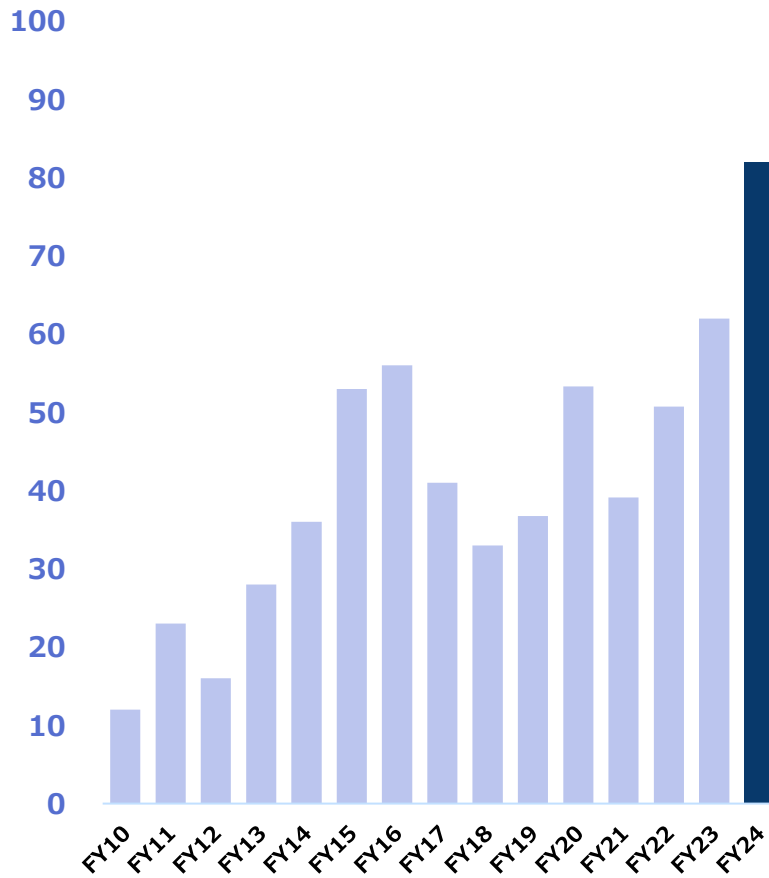
(売上収益：億円)



*日産依存度：売上収益に占める日産自動車向け売上割合

営業利益

(営業利益：億円)



(予想)

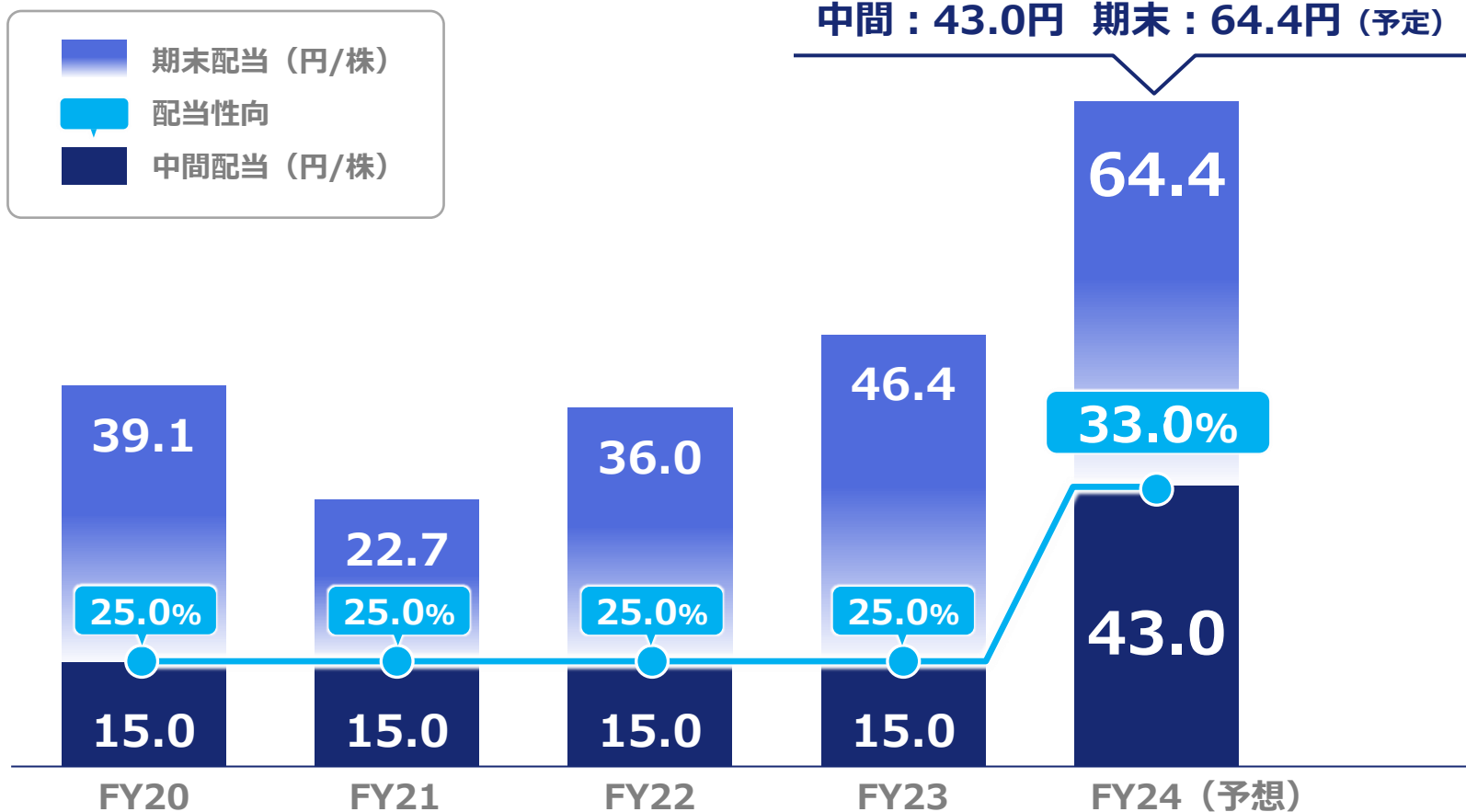


企業価値向上に則した株主還元策を推進

2024年度より配当性向を25%から33%を目途に引き上げました

年間配当金 **107.4円** (予定)

中間 : 43.0円 期末 : 64.4円 (予定)



『 品質への原点回帰 』

営業品質

顧客の期待値を
超えるサービス

新領域・エリア
開拓

グループシナジー

適正な料金

物流品質

事故・クレームの
削減・対策

輸送戦力の確保
(役割分担)

運び方・拠点の
あり方見直し

デジタル投資

人的品質

グループ人材の
充実・確保

人材投資
(人的資本)

プロ意識の醸成

人事・評価制度の
見直し

財務品質

財務体質強化

コストの適正化

資本コスト経営

株主還元方針の
見直し

2026年度目標

連結売上高 **1,500** 億円以上、営業利益 **100** 億円以上
(ROE 14.0%以上)

1

2024年度 中間決算概要
(2025年6月期)

2

会社概要紹介

3

質疑応答

- ご発言・ご質問の際は、挙手願います
- 司会が指名いたしましたら、会場係員の誘導に従い、ご質問をお願いいたします
- ご発言・ご質問の際は、**「お名前」**を述べて下さい
- お時間の都合上、すべてのご質問に回答ができない場合があることをあらかじめご了承ください



将来見通し等に関する注意事項

- 本資料は、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料には当社およびグループ各社の将来予想に関する記述が含まれておりますが、将来の業績を保証するものではありませんので、将来の業績は、経営環境の変化などにより、現在の当社の将来予想と異なる可能性があることにご留意ください。
- 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、利用者ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提供させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。